

復興研究会報告

NO.9(平成28年度 第2号)

発行
岩手県立大槌高等学校
復興研究会・O A部
発行日
平成28年7月29日

御社地公園大槌高校ワークショップ

7月5日(火)に御社地(おしゃち)公園大槌高校ワークショップが行われました。この活動は、大槌町役場都市設備課主催で、住民への町づくりワークショップと同じ内容の「御社地公園づくり」に関わる活動です。今回はその参加者の感想を一部紹介します。

私は釜石に住んでいるので、御社地公園についてあまり知らなかったけどあの話を聞いてとても町民に愛されていたんだと感じました。現在は公園があまりないのでたくさんの人が集まる公園を作りたいと思いました。
(2年女子)

御社地公園のワークショップに参加して昔の御社地の思い出を話しながら多くの意見を出し合うことが出来ました。公園の模型を低い位置から見ることで違って見えることを今回初めて知りました。今回話し合った案が何か一つでも実際に実現したらいいと思いました。

(2年女子)

御社地公園が大きくなってとても驚きました。前はとても小さく、思い出がある場所だったのでワークショップに参加してさらに思いが強くなりました。さまざまな考えが出てさらに良い公園ができるのではないかと期待が高まりました。
(1年男子)

ワークショップがあると知り、大槌の復興に直接関われるチャンスだと思い、参加しました。実際に参加してみてこれからの大槌を知る機会になったし、昔の大槌と比較し、どうしたら安全か、便利かと班のメンバーと話し合うことができました。
(2年女子)

ワークショップに参加し、改めて大槌の現状を知ることができました。昔の大槌を感じさせる雰囲気のある公園を設計したいということを知り、もっと大槌復興に関わりたいと思いました。

(2年女子)



防災講演会

～クロスロードゲームに参加して～

7月4日（月）に防災講演会が行われました。この活動は、震災の時にどうすればいいのか話し合う活動です。今回はその参加者の感想を一部紹介します。



小学校や中学校でビデオ視聴・体験者からの講話・ハザードマップの作成などで防災について学ぶことはありましたが、避難時に直面する岐路についてゲーム形式で学ぶことは無かったので、楽しく防災について考えることができました。グループで別の選択をした人の意見を交えて改善策を導く際には、災害弱者の命をどうするのか深く考えさせられました。どのように危機を周知し、防災・減災に生かすかが重要だと思いました。
(3年女子)

今回防災班として防災教育に参加しました。越野先生と共にクロスロードゲームというゲームをし、防災に対する意識を高めました。今までは軽い程度でしか理解していませんでしたが災害というのはいつ起こるか分からないので、いつ起こっても自分達でどのような判断をしたら良いのか深く考えることができました。今回学んで得た知識をこれから起こりえない災害に生かしていきたいと思います。(2年女子)

今回参加をしてみて震災について改めて考え直すことができました。防災についてみんなで意見を出し、討論をするという普段することのない経験をできました。震災で実際に経験した出来事を無駄にしないよう、震災を忘れずにこれからの生活で活かしていきたいと思います。また、このような活動があれば進んで参加して、たくさんの事を学んでいきたいと思います。
(3年女子)



今回のワークショップに参加してみて、同じ高校生でも考え方が全く違うことを知りました。自分がYesのカードを出した時、みんなYesなのかと思ったら、Noの人が多かったり、その状況に正しい判断がYesかNoなのかは人それぞれなんだと知りました。

(2年女子)